

冬 土曜日 AM8:00 学校プール裏

なあ……いいだろ
頼むよ 麗子

い……嫌よ！
どうして私が
そんな事しな
くちやいけ
ないのよ！

バツ……バカ
声大きい

あなた達……
「そんな事」って
何をするの？

べ……別に
何でも無いよ
静香先生

そ……
そうなの？

もうホーム
ルームの時間よ
早く教室へ
行きなさい

じゃあ
知幸くん♪
今夜寮でね

うん……
うん

あの女……
あなたに色目
使ってたわね

オイ
あの女って……
先生だろ？

今夜あの女と
何をするつもり
なのかしら
知幸くん？

べ……別に
麗子には
関係無いだろ





しかし麗子が
こうして俺のモノを
啜えてるところを
誰かに見られたら
俺達2人どう思わ
れるのかな？

やっぱり
恋人同士
かな...



解ってるって...
俺みたいなの
一般庶民なんかと
恋人同士なんて
冗談じゃないんだろ



美味いか
麗子？

一流シェフが
作った朝食と
比べてどっちが
美味しいんだ？



わ...私に
命令しないで
ちょうだい



なあ麗子
この大きな胸で
挟みながら
舐めてくれよ

まあ今回だけは
この方が早く
終わってくれ
そうだから...



特別にして
あげるわ



男も気持ちいいとそうやって濡れるのさ

100% 100%



麗子も気持ちいいんだろ? 乳首をこんなに硬くしちゃってるぜ

しっ...失礼ね! 私はずしろ 気持ち悪いわ!



何よこれ? 先がヌルヌルして来たわ...



先の割れ目に舌を入れる様に舐めてくれよ



バカな事言っでないでさっさと出しなさいよ

ホラ ホラ



なあ麗子 袋の方も舐めてくれよ

キュッ キュッ



あんだ達何やってんのよ!?

あー

知幸!!



これって
どういう
事なのよ!

どきな麗子!
私が替わるわ!

ヘタクソの
くせにいつまでも
啜てんじゃ
ないわよ!



あたた!
かっ!
咬むな!



まっ……
真由美!



麗子! 何啜え
てんだよそれは
私のモノよ!!

いいところに
来てくれたな
真由美

エ?

麗子がヘタ
なんでなかなか
イなくて
困ってたんだ

エーッマジイ?
しょうがないナ



麗子 どうして
離さないのよ
私と張り合う
つもりなの?

不細工な
顔して

フン いいわ
私のテクを
見せてやるわ



お……おい
真由美……



エヘヘ

